

# 「下水汚泥圧送管の清掃・点検・調査」に関する 共同研究協定を締結しました

横浜市では、民間企業や公的な研究機関等が保有する先端技術や情報等と横浜市の保有する技術知識や施設等を組み合わせ、産・学・官が連携した新規性に富んだ研究、技術開発等を積極的に推進するため、共同研究を行っています。

このたび、管清工業(株)神奈川営業所、東亜グラウト工業(株)、芦森工業(株)、芦森エンジニアリング(株)本社の共同研究体と「下水汚泥圧送管<sup>げすいおでいあっそうかん</sup>の清掃・点検・調査に関する共同研究」について共同研究を進めるため、協定を締結しました。

## 1 共同研究概要

研究名称：下水汚泥圧送管の清掃・点検・調査に関する共同研究

協定締結日：令和7年7月7日

目的：下水汚泥圧送管の効果的な清掃・点検・調査についての研究

## 2 共同研究内容

### ■ 内容

下水汚泥圧送管は、下水処理の過程で発生する汚泥を水再生センターから汚泥資源化センターへ輸送するための重要な施設です。横浜市下水道事業中期経営計画2022では、市民生活を支える下水道の管理に関する取組の一つとして「送泥管の再整備」が挙げられています。

本研究では、老朽化が進行している下水汚泥圧送管において、清掃・点検・調査技術の高度化と効率化を図ることで予防保全型の維持管理体制を確立し、下水道施設の安定稼働と持続的な運営へ寄与することを目標とし、共同研究を進めます。

＜期待される効果＞

- ①清掃・点検・調査作業の効率向上による、作業時間及びコストの大幅削減
- ②効率的な点検・調査に基づく予防保全の徹底による、管路機能の延命化
- ③下水汚泥圧送管の計画的・持続可能な維持管理体制の構築



裏面あり



GREEN×EXPO 2027  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

■ 研究体制

本研究では、下水汚泥圧送管の維持管理に関する知見のある4社で構成された共同研究体と共同研究協定を締結しています。各社の持つ知見及び技術を融合することで新たな革新的技術の創出を目指します。

お問合せ先		
下水道河川局マネジメント推進課担当課長	西高 幸作	Tel 045-671-2940



**GREEN×EXPO 2027**  
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

